

かけはし



発行：峡南教育事務所地域教育支援スタッフ
 所在地：南巨摩郡富士川町鯉沢771-2
 TEL：0556-22-8154 FAX：0556-22-8144
 HPでも御覧になれます。 URL <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-mk/index.html>

峡南地域教育推進連絡協議会 (地推協)

総会開催



7月19日(火)身延町中富総合会館において、峡南地域教育推進連絡協議会(地推協)の総会が開催されました。江本たまき会長をはじめ、理事・委員など関係者28名が出席しました。6月に行われた理事会の審議事項に基づき、平成27年度の事業・決算報告、平成28年度の新役員や事業・予算計画等について、慎重な審議が行われ、承認されました。この地推協は、峡南地域の様々な団体の代表により構成され、地域の連携強化や学習機会の充実を図る中で、望ましい教育環境・社会環境づくりを目指すものです。事業の詳細は、身延町教育委員会学校教育課、峡南教育事務所までお問い合わせください。

◆平成28年度の主な地推協役員

- 会長 望月 忠男 氏(身延町教育長職務代理者)
- 副会長 渡辺 拓雄 氏(南部町教育長)
- 副会長 芦澤 和彦 氏(南部町教育長職務代理者)
- 副会長 向山 豊隆 氏(峡南高等学校長)
- 副会長 佐野 博樹 氏(峡南PTA協議会会長)

峡南地域人権講演会

地推協総会終了後、峡南地域人権講演会が開催されました。今年度は、大正大学教授の玉井邦夫氏をお迎えし、「特別支援教育と子ども虐待～子どもの権利の視点から」と題して御講演をいただきました。講演内容は次号で詳しくお伝えします。

かけはし144号の誌面

- p1 峡南地域教育推進連絡協議会総会教育フォーラムの御案内
- p2 連載特集『峡南地域の食材』No.15
- p3 海洋道中参加者決定、砂防教室、あじさい親子写生大会
- p4 伝統文化子ども教室開催
増穂商業高校1日体験入学、市川高校・身延高校学園祭、

☆☆☆ 峡南教育フォーラムのご案内 ☆☆☆

- ◇日時 平成28年8月30日(火)午後2時00分～(受付 午後1時30分)
- ◇会場 身延町総合文化会館
- ◇内容 講演「子どもの自立を支える親の関わり～カウンセラーの視点から」
講師 認定カウンセラー・ガイダンスカウンセラー 川邊 修作 氏
実践発表 「地域とともにある学校～内船歌舞伎をとおして」
発表者 南部町立南部中学校 望月和彦教頭先生、井上公彦先生
- ◇申込み 峡南地域のどなた様でも参加いただけます。席に限りがありますので必ず事前の申込みをお願いします。8月2日(火)までに、ご連絡ください。
- ◇申込先 山梨県教育庁 峡南教育事務所 地域教育支援担当 石原・田代
(TEL) 0556-22-8154 (FAX) 0556-22-8144
(eメール) ishihara-pdhy@pref.yamanashi.lg.jp (石原)



★★連載特集 『峽南地域の食材』No. 15

南部町「お茶」と食改さん



【南部町とお茶】

南部地域は山梨県内では温暖な気候に恵まれ、また降水量も多く（年間の降水量は県内一）お茶の栽培に適していることから、その特性を生かして昔からお茶の栽培が行なわれています。お茶は全国各地で栽培されていますが、南部町は他の地域に比べ、栽培面積が比較的小さい分、手間をかけて高品質のお茶を育てています。品質はほぼ同じ気候・条件である静岡茶と変わりません。但し、深蒸しの静岡茶に比べ、普通蒸しである南部茶は、色は薄めですが、味と香りはとても良く、甘く柔らかい舌触りが特徴です。

【南部お茶まつり】

5月15日（日）に、南部町アルカディア総合公園駐車場特設会場にて第19回JAお茶まつりが盛大に開催されました。開会セレモニーは、佐野和広町長をはじめ多くの来賓をお招きして行われました。開会セレモニー終了後には、富沢郷白鳥太鼓保存会の皆さま方から太鼓の披露がなされて、会場を盛り上げていました。今年は、春先からの天候にも恵まれて、霜の被害もなく美味しいお茶に仕上がったそうです。会場では新茶大特売、新茶袋詰め放題、新茶目方当てクイズ、新茶手もみ実演・直売の他数多くの店舗が出店して、県内外から訪れた多くの方々を楽しませていました。



【抹茶ババロア】

南部町合併10周年記念レシピ集「ふれあい」に掲載されている抹茶ババロアのレシピを御紹介します。

◎材料（4人分）

牛乳…400ml（2カップ） 粉ゼラチン…8g 水…大さじ4
抹茶…小さじ2 お湯…小さじ4 砂糖…大さじ4

◎作り方

- ①ゼラチンは水に振り入れ柔らかくもどす。抹茶はお湯で溶かしておく。
- ②牛乳に砂糖を加え、煮立てない程度に温めて砂糖を煮溶かし、①のゼラチンを加えて溶かす。溶かした抹茶も加える。
- ③ザルで濾しながら器に液を注ぎ、冷蔵庫で冷やし固める。冷蔵庫で固めると、自然と色の濃い部分、薄い部分に分かれ2層になるババロアです。



【南部町の食改さん】

南部町の食改さんこと「食生活改善推進員会」は、大窪ちかよ会長を含め今年度110名で活動しています。

《活動目的》

1. お互いに学び交流し、食生活改善推進員の質の向上に努めよう。
2. 地域住民の健康づくりのために生活習慣、食生活習慣の知識を知り町民に伝達し広めていこう。

《活動目標》

1. バランスの取れた食事を推進しよう
2. ウォーキングや運動や体操等による健康づくりを推進しよう
3. 食育事業を推進しよう
4. 推進員として学び交流し、正しい知識を身につけ地域に伝達していこう
5. 広報誌を使って活動紹介、レシピの紹介

《勉強会やイベントへの参加》

年に1～2回の町内会員での勉強会や、ウォーキング交流会などを行っています。4月にはたけのこまつり、10月には福祉健康祭りでそれぞれブースを出し、減塩の普及や特産品のPR、手ばかり法の普及を行っています。28年度は親子を対象にした料理教室を年に3回予定しており、旬の食材を使った料理や、行事食を作る内容になっています。また、6月には町の生活習慣病予防事業「親子あれこれウォークラリー」へも協力しました。



八丈島・でっかい体験2016

フロンティア・アドベンチャー「やまなし少年海洋道中」

参加者決定

6月5日(日)に「やまなし少年海洋道中峡南地区抽選会」が、中富総合会館で行われ、峡南地域では男子4名、女子3名の参加者が内定しました。県全体での今年度の参加応募者数は77名でした。

参加定員は50名で、男子25名、女子25名を例年募集しています。H28年度応募者数の内訳は、男子50名、女子27名でした。県全体の抽選倍率は、男子2.00倍、女子1.08倍となり、応募したにもかかわらず希望に添えなかった男子が出てしまいました。さて、この海洋道中は県の事業として今回で29年目を迎えています。地元・東京都八丈島の方々に支えられています。

伝統と多くの人々の協力のもと、この海洋道中は、輝きあふれる体験の場となることでしょうか。今年は、8月1日～9日(8泊9日)の日程で行われます。洋上体験(船での寝食・クルージング・外洋観察等)や自然体験(キャンプ生活・スノーケリング・野外炊事・サバイバル踏破・ビバーク等)、交流体験(八丈島の小中学生との交流)等々、八丈島を思い切り満喫します。さらに、体験活動を通して、友情・連帯・自主の精神を育み、学校・地域のリーダーとして豊かな力量を身に付けることを目指します。参加する皆さんの実りある研修を心から期待します。



砂防教室



6月7日(火)市川南小学校の5学年児童を対象に移動教室が行われました。6月は土砂災害防止月間であり、土砂災害とその防止への理解と関心を深めることがこの教室の目的です。当日は、峡南建設事務所河川砂防管理課の方々の指導の下、講話やビデオ鑑賞を通して、次のことを学んでいきました。①土砂災害とその防止のしかた、②川遊びの紹介と川に入るとき

の留意点、③簡易雨量計の作成や雨量と災害の関係です。学校周辺にも砂防ダムが見られますが、砂防堰堤模型を使った実験により、働きや有効性がとてもよくわかりました。また、災害から身を守るためには、大雨などの情報や災害発生の前兆に十分に留意すること、普段から危険箇所の把握と避難準備の備えをしておくことなどが大事であると話されました。真剣な表情で講師の先生の話に耳を傾ける児童の姿に、身近な問題として進んで学ぼうとする意欲を感じました。



あじさい親子写生大会



増穂南小学校(清水潤校長)では、6月26日(日)に小室山妙法寺境内にきれいに咲く2万本のあじさいを写生する、親子写生大会を実施しました。地域のあじさい祭りのイベントとしてPTAが主催で行われるこの写生大会は、今年で第19回目を数えます。親子で構図を決め、色鉛筆や絵の具、クーピーを使って一枚の絵を完成させます。

一輪の花を丁寧に画いたり、白・青・桃・紫など様々な色の花を入れて画いたり、鐘つき堂から見たあじさいや田んぼの向こう側に咲くあじさいなど、建物や他の風景を入れた絵を画いたりしました。一人ひとりがあじさいの美しさを発見して、工夫してキャンバスに描くことができました。

◎伝統文化子ども教室開催 富士川町



6月11日(土)富士川町民会館において、伝統文化子ども教室の開講式が行われました。これは、富士川町が『日本の伝統文化を体験して「おもてなしの心」を身につけよう』をテーマに、町内の小中学生対象に行っているものです。今年度は、「子ども茶道教室」に16名、「おことくらぶ」に7名が受講することになりました。「子ども茶道教室」は年間16回の教室が開かれる予定で、講師を務めるのは、富士川町文化協会増穂茶道部代表の矢崎香住先生です。一方、「おことくらぶ」は年間27回の教室が開かれる予定で、講師を務めるのは、富士川町文化協会音楽部絃の会代表の原田真弓先生です。開講式で、川手教育長から「継続して頑張ってください。」と激励の言葉がかけられ、早速それぞれの教室が始まりました。来年2月25日には1年間の成果を披露する合同発表会が予定されていて、成長した子どもたちを見るのが楽しみとなりました。



◎中学生1日体験入学 増穂商業高校

増穂商業高校(川手正昭校長)は、6月25日(土)に第1回体験入学を実施しました。中学生・保護者・中学校教員など約100名が参加しました。全体説明会では、社会における実務的な学習ができること、多くの検定・資格試験を取得する支援体制が整えられていること、資格取得が様々な進路に直結し進学・就職100%を達成していること、部活動の活動状況等が紹介されました。参加者は真剣な表情で話を聞いていました。続く体験授業では「プログラミング」「情報処理」「ビジネス実務」「総合実践」の商業科目に、中学生・保護者・中学校の教員も参加しました。終了後には部活動見学と並行して「いきいきショップ増商」も出店。同校の生徒が授業で開発した商品を実演販売しました。参加者の表情から、十分に魅力が伝わったと感じました。第2回は8月6日(土)に実施されます。



職100%を達成していること、部活動の活動状況等が紹介されました。参加者は真剣な表情で話を聞いていました。続く体験授業では「プログラミング」「情報処理」「ビジネス実務」「総合実践」の商業科目に、中学生・保護者・中学校の教員も参加しました。終了後には部活動見学と並行して「いきいきショップ増商」も出店。同校の生徒が授業で開発した商品を実演販売しました。参加者の表情から、十分に魅力が伝わったと感じました。第2回は8月6日(土)に実施されます。

市川高校 龍膽祭(りんとうさい)

市川高校(丹沢公彦校長)の「龍膽祭」が、6月22日と23日の2日間にわたって、テーマを「REACH FOR THE STARS~夢限の彼方へ~」と銘打って開催されました。今年で63回目となる学園祭。初日は吹奏楽部と音楽部の発表を皮切りに、模擬店・クラス展示・書道パフォーマンス・各部委員会展示・クラス対抗の合唱コンクールが行われました。2日目には、職員発表・龍膽の集い・クラス対抗ダンスコンテストが行われました。学園祭のメインの一つであるダンスコンテストでは、衣装も凝らしストーリーを重視したダンスを各クラス共に披露しました。会場となった体育館は熱気に



包まれて、盛り上がりが高潮に達しました。保護者等(243名)が来校するなか、伝統と若々しいパワーに満ち溢れた行事となりました。

高等学校学園祭

身延高校 身高祭(しんこうさい)

身延高校(若林毅文校長)は、6月29日~7月1日の3日間にわたって、第67回「身高祭」を開催しました。今年のテーマは、UNLOCK



YOURSELF~「ひとつになる」その瞬間のために~。初日は身延町総合文化会館ホールに保護者を招いて、午前はオープニングセレモニー、シンボル旗の発表に続き、吹奏楽部と演劇部が発表、午後は1年生の合唱、2年生の創作ダンス、3年生の創作劇が行われました。2日目は会場を学校に移し、地域の小学生など見学を訪れる中、身高コレクション、Mスク、模擬店、クラス企画等とともにPTAのバザーも加わり賑やかに行われました。3日目は体育部門が行われ、最終競技のクラス対抗リレーでは熱狂がピークに達しました。身高生278名が、まさに「ひとつになる」学園祭でした。

